

わくわく城東

今月注目の子育て情報を紹介
**ピックアップ
インフォメーション**

緊急
「どうしよう!?子どもの急な体調不良!」
診てもらえる**病院はどこ?**



★救急安心センターおおさか (24時間・365日対応)
#7119 または ☎06-6582-7119
突然の病気やケガで困ったときに電話して下さい。救急医療相談を、看護師が医師の支援体制のもと、24時間・365日対応します。相談の結果、緊急性がある場合は、直ちに救急車が出発します。

- 休日・夜間の急病は?**
診療科目、受付時間はお問い合わせください
- 都島休日急病診療所(休日)
都島区都島南通1-24-23 ☎06-6928-3333
 - 今里休日急病診療所(休日)
東成区大今里西3-6-6 ☎06-6972-0767
 - 中央急病診療所(夜間)
西区新町4-10-13 ☎06-6534-0321

子どもの**誤飲事故**が起ってしまったら
●公益財団法人
日本中毒情報センター中毒110番
☎072-727-2499 (24時間・365日対応)

★小児救急支援アプリ (対象年齢15歳未満)
お子さまの病気やケガの緊急度をスマートフォンアプリで簡単に判断できます。診察時間中の小児科系医療機関(大阪府内計1349件)がリアルタイムに地図に表示されます!
※受診前には必ず医療機関へ受診できるかどうかを確認してください。
小児救急支援 検索

城東図書館おすすめ
新刊よんでみて

ぱんだちゃん (01.2.えほん) 絵文: MAYA MAXX 出版社: 福音館書店
2023年1月発行 21x20cm 20ページ

ぱんだちゃんが竹を食べます。たくさんむしむしや、ずつとむしむしや、木登りしてむしむしや、うんちした後もむしむしや、するとごろんごろんしているうちに眠たくなりました。限られた色でいねいに描かれた絵が、食べてうんちして、健やかに成長する子どもをあたたく描きます。最後は、ママと寄り添ってねねします。おやすみなさい。

子づれ **DE** どうぞ お子様づれOKの
お店やイベントをご紹介します★

子連れママが安心して施術を受けられる美容室

子育て真っ最中のパパママが営む美容室。施術中はママ友感覚で子育ての話が気軽にでき、他のスタッフも子どもの対応に慣れているので安心です。店内は広々としていて、ベビーカーは子どもを座らせたままカット台の横に置けます。産後すぐや育児で腰痛を持つママの体に負担が少ないように、シャンプー台のイスはフルフラットになるものを使用。子どもは待っている間にDVDや動画を楽しめます。

大きな窓から光が差し込む明るい空間

nikru (ニクル)
城東区関目2-3-2 06-6180-4796
9:00~18:00 毎週月曜/第1・3火曜定休
Instagram @nikru_official

城東区のお医者さんをご紹介します

まちのお医者さん

[こいずみクリニック 整形外科 リハビリテーション科]

「ベビースリングでの横抱きは、両足をのばされて股関節脱臼(正常な股関節形成が妨げられる)の危険性があり、寝返りできるようになるまでは控える方がよいです。縦抱きの抱っこ紐を使い、両足がM字になるように抱っこしましょう。もし、オムツを交換するときに足の開きが悪いなど、心配なことがあれば相談してください」と、小泉先生。休日は子どもと公園で遊び、体力づくりのためにジムにも通っているそうです。

Doctor 小泉 宏太 先生
城東区古市3-24-1 06-6930-2525
Osaka Metro 今里筋線「新森古市」駅より1番出口から徒歩3分 <https://koizumi-seikei.jp/>

●経歴 ● 2007年 奈良県立医科大学 卒業 / 大阪警察病院、大阪大学附属病院、関西労災病院などに勤務後、2022年7月こいずみクリニック 整形外科 リハビリテーション科 開業

発行 ■■■ 「子育てするなら城東区推進委員会」06-6930-9068
編集 ■■■ 城東区.com
Text/石井麻優子、ろこびん Design/maomao
協力 ■■■ 城東区子育て支援連絡会、
こいずみクリニック 整形外科 リハビリテーション科、
nikru
Thanks!

★みなさまからの情報募集★
城東区内の子連れで行きやすいお店、オススメスポット等の情報や、特集してほしい内容がございましたら、下記フォームからお送りください。
<https://ws.formzu.net/sfgen/S26861848/>

交通安全の大切さを伝えよう!

まだまだママやパパと一緒に出かけることが多い幼児にも、事故を防ぐために交通ルールは早いうちから教えておきたいですね。交通ルールをしっかりと身につけるために、交通安全の大切さを伝えていきましょう。

★まずは大人が交通ルールを守る

「急いでいるから」という理由で交通違反をしてしまっていないか。言葉でどんなに言われていても、パパやママが違反している姿のほう子どもにとっては印象が大きいものです。身をもって教える姿勢が大切です。

★交通ルールは具体的に教える

信号がある交差点にいるとき、車や自転車が近づいてきたとき、止まれの道路標識があるときなど、実際に体験をしながらひとつひとつ具体的に交通ルールを教えましょう。

★子どもと一緒に危険な場所を確認

通学路はもちろん、家の近く、よく行く公園、習い事している場所までの経路など、子どもと一緒に行動範囲をできるだけチェック!「ここは一時停止という道路標識があるから、歩いているときも一度止まって車や自転車が来ないか確認してね」「この交差点は、見通しが悪いから必ず確認してから進もうね」など、危険な場所を確認しましょう。



命や健康にかかわる交通安全のルールは、すぐには身につかないものです。毎日の生活の中で、交通安全への意識をパパやママがしていること、そしてじっくり子どもに付き合い、繰り返し伝えていくことが必要です。



ヒヤリとさせられる場面では真剣に話をしてルールを守る大切さ、自分の身を守る大切さを教えましょう。家族間で意識の共有をしておくことも忘れずに。



城東区では子どもの成長・発達・しつけ・不登校・児童虐待などに関する相談(面談:予約制)をお受けしています。

とき 月曜～金曜(祝日、年末年始を除く)9時～17時30分
ところ 城東区保健福祉センター 保健福祉課(子育て支援室) 城東区役所3階 34番窓口 問合せ TEL.06-6930-9068

